

介護と人生

仕事・子育てと
どう両立させる？

16

日本エルターライフ協会 代表理事
ケアライフアドバイザー
柴本美佐代

特養入所

昨年4月から特別養護老人ホーム(特養)の入所要件が、それまでの要介護1以上から要介護3以上に変更になりました。

ますます入所は難しくなっただと思われる方も多いかと思えます。特養の入所待ちの人が一つの施設に200人以上などの情報から、入所を検討する前から「入

所は無理」と諦めてしまう方もあるでしょう。ですが、実は入所要件が厳しくなったことで、逆に本当に入所が必要な方にとっては可能性が高くなることもありま

す。入所は申し込み順に決まるわけではありません。入所の必要性や緊急性、在宅でのサービスの利用状況なども考慮して優先される仕組みがあります。

まず特養の特徴を知っておくことで、入所が可能かどうか分かります。

特養は介護施設なので医療行為が制限されますから、日常的に医療サービスが必要な方は入所が難しくなります。逆に持病があっても特に日常的に医療を必要としない要介護3以上の方は、受け入れやすいので

申し込み順に決まるわけではない

日常的に医療を必要としない要介護3以上の方は、受け入れやすい

家族が近くにいる場合、サポートできる受け入れやすい



要件変更で可能性高まることも

また、通院や入院などが必要な際に家族が近くにいるサポートできる場合も施設は受け入れやすくなります。ですから、そのような条件を満たす場合は、申し込みから思っていた以上に早く入所の通知があり、家族の準備が整わず断つてしまうケースも出ています。

入所申し込みをする場合は、念のためではなく、本当に必要になってから申し込みが重要ですが、検討は余裕のある間に行っておきましょう。必ず見学に行つて、入所した後のサポートや費用の問題をしっかり考えておかないと受け入れの返事があつた時に断ることになるかもしれません。

親戚や周囲の理解も大切です。事前に申し込みする施設を一緒に見学してもらったり、在宅での費用や生活への影響を説明したりして、反対なら代案を出してほしいと冷静に対応しましょう。